

9月1日は「防災の日」です

災害に備える！ ～災害は忘れないうちにやってくる～

問合先 自治振興課（危機管理室）



平成最後の年となった昨年は、本市にも大きな被害を与えた台風21号をはじめ、大阪府北部地震、西日本豪雨、北海道胆振地震と災害が次々と発生しました。そして今年は今和元年となり、6月には山形県沖で震度6強の地震が発生し、また、7月には梅雨前線による大雨で九州南部を中心に大きな被害が発生しています。最近は、「災害は忘れたころにやってくる」ではなく、「災害は忘れないうちにやってくる」と言われています。

9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。この機会に、みなさんも自分自身や家族、地域、仕事場での防災減災について今一度考えてみましょう。



地震被害想定

～本市で想定されている地震の規模と被害は？～

【中央構造線断層帯地震】

発生確率 30年以内：0.007%～0.3%
震度 5強～7
建物被害 全壊：6,535棟、半壊：6,423棟
人的被害 死者：92人、負傷者：1,272人

【南海トラフ地震】

発生確率 30年以内：70%～80%
震度 6弱
建物被害 全壊：232棟、半壊：2,067棟
人的被害 死者：86人、負傷者：700人
最大津波水位 3.8m
津波最短到達時間 81分



地域の自主防災活動

地域の町会（自治会）を中心とした自主防災組織が令和元年7月末現在82町会中、76町会で結成され、防災活動に取り組んでいます。

昨年度は、大防災訓練や地域の草の根防災訓練などが行われ、2,369人が訓練に参加しています。

写真は昨年11月4日に行われた大阪府・泉南地域5市3町合同防災訓練で西野台町自主防災会が行った要配慮者避難支援訓練の様子です。



自分たちのまちは自分たちで守る！



泉佐野市消防団

消防団は、それぞれの仕事を持ちながら、地域に密着して活躍する消防組織です。泉佐野市消防団には大土・日根野・上之郷・長滝・南中・女性・市役所分団があり、170人の団員が活動しています。

日ごろは、訓練で技術を磨き、地域で火災があれば、いち早く現場に駆け付け消火活動を行うとともに、災害時の警戒や行方不明者の捜索など、地域の安全を守るため活躍しています。

写真は、今年3月に行われた林野火災総合訓練で消防団が放水を行っている様子です。

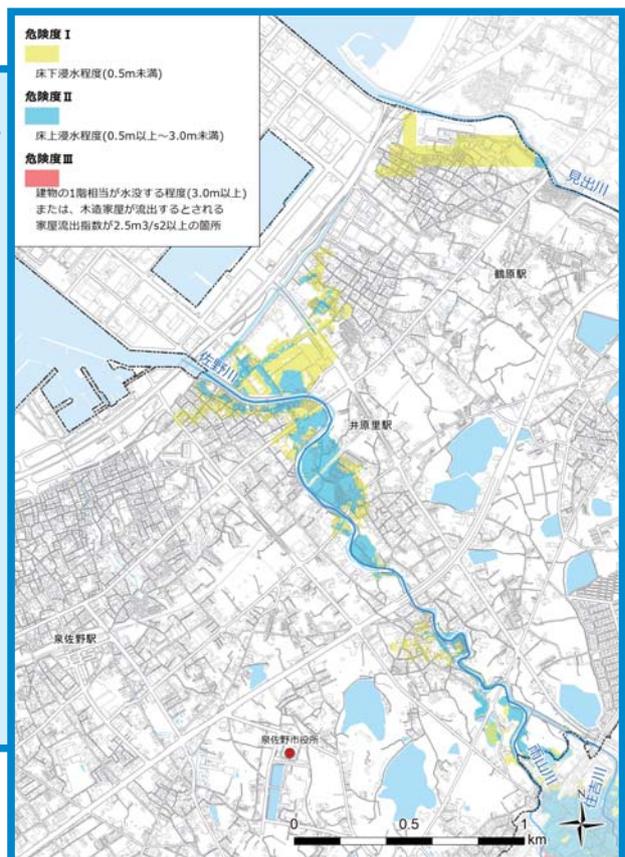
佐野川の新しい浸水想定が公表されました

大阪府では、平成27年5月の水防法改正を受け、順次府管理河川の想定最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」として新たに指定し、「洪水浸水想定区域図」を作成しています。このたび、佐野川について、その洪水浸水想定区域図が公表されました。詳しくは大阪府のホームページ (<http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/4127/00318762/sanogawa.pdf>) をご覧ください。

なお、今後、見出川および樫井川においても順次、改正法に基づいて洪水浸水想定区域を指定し、公表される予定です。

▶ 佐野川浸水想定区域図

想定最大規模降雨：時間当り141.8mm



風水害に備える！

洪水
～川が溢れる前に避難～



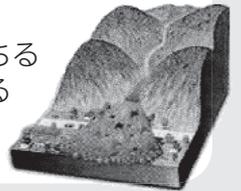
市内にある見出川・佐野川・櫛井川では、川の水位やリアルタイムの映像がインターネットで確認できます。川ごとに設定された「氾濫危険水位」に達した場合、市から避難勧告を発令します。

- テレビやラジオの気象情報に注意しましょう。
- 氾濫の危険を感じたら早めに避難しましょう。
- 家の外がすでに危険な状態なら、2階へ避難するなど、屋内で安全確保を行うことも避難行動のひとつです。

土砂災害
～前兆をいち早く察知し避難～

雨が降り続き地盤が緩むと土砂災害が発生します。土砂災害警戒情報が発表されると、市から土砂災害警戒区域内に避難勧告を発令します。

- 土石流の前兆
 - ・ 川がにごり、流木が混ざり始める
 - ・ 山なりがする
- がけ崩れの前兆
 - ・ がけから小石がパラパラ落ちる
 - ・ がけから水が噴き出してくる



地震に備える！

地震
～地震だ！落下物に注意！～

震度6弱以上の揺れのときは、立っていることも困難になります。まずは身を守る行動をとりましょう。

- まずは自分と家族の身を守る
- 揺れが収まったら火の始末
- 近所の人への声掛け
- 余震に注意し、安全確保や避難
- 日頃から家の耐震化や家具の固定をしておく



津波
～津波だ！逃げろ！～



南海トラフ地震では約80分で津波が到達し、沿岸部では堤防を越え浸水する想定となっています。

- 次の時は沿岸部から離れ南海本線より山側に逃げましょう。
- 大津波警報や津波警報が発令されたとき
- 強い揺れや長時間の揺れを感じたとき
- 率先して避難しましょう。その姿を見て、ほかの人も避難し命を救うことに繋がります。

台風21号の教訓を生かす！

台風21号では最大瞬間風速50mを超える暴風が吹き荒れ、屋根被害や電柱倒壊による停電、それに伴う高層建物で断水が発生しました。

- 風で飛ばされそうな物は固定するか屋内に移動する。
- 屋根の瓦に割れやズレなどがなければ点検し、被害応急処置用のブルーシートなどを備えておく。
- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオ、モバイルバッテリーを準備する。
- 断水に備えて、飲料水や生活用水を確保する。(浴槽に水を張るなど)



防災行政無線放送 屋外スピーカーからの放送が聞き取れなかった場合は、☎072-479-3710に電話すると内容を聞くことができます。

※防災行政無線や防災メールなどの正確な情報は、地域のみなさんでも教え合って情報を共有しましょう。

9月5日(木) 午前11時実施!!

大阪880万人訓練

～携帯電話の訓練緊急速報が一斉に鳴ります～

大阪880万人訓練
Osaka 8.8million drill

この訓練を「あなたの命を守る普段の備え」について考えるきっかけにしてください。市役所では、この訓練と連携し、災害対策本部訓練や避難所開設訓練などを行います。(病院や会議など鳴ってはいけない場所にいるときは、あらかじめ電源を切ってください。)

実施日 9月5日(木)

時間・内容 ●午前11時 地震発生…防災行政無線の屋外スピーカーで緊急地震速報を放送します。

●午前11時3分頃 大津波警報発表
(訓練用エリアメール・緊急速報メールが届きます。)

●午前11時5分頃 泉佐野市から2回目の訓練用エリアメールなどを発信

問合せ先 府民お問合せセンター (☎06-6910-8001)

※訓練について詳しくはホームページ(http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/)をご覧ください。



災害時に役立つポータルサイトと防災情報メールの配信

【ポータルサイト】

府内の避難情報やライフライン情報などをまとめて提供します。

ホームページアドレス
<http://www.osakabousai.net/>

【おおさか防災情報メール】

必要な防災情報をメールで受信できます。携帯電話で右のQRコードを読み取り、空メールを送って登録できます。



【防災行政無線登録制メール】

防災行政無線の放送等をメールで送信します。携帯電話で右のQRコードを読み取り、空メールを送って登録できます。



迷惑メール対策で、ドメイン指定受信をしている人は、あらかじめ上記アドレスを登録してください。また、URL 付きメール受信拒否や宛名設定など、各種の受信解除もしておいてください。登録料無料、通信料は利用者負担となります。

修正しました

泉佐野市地域防災計画 (令和元年7月修正)

泉佐野市地域防災計画とは、災害対策基本法第42条に基づき、市民の生命、身体および財産を保護するため、市域における災害予防、災害応急対策および災害復旧復興に関し、市および防災関係機関の処理すべき事務または業務の大綱などを示すため、防災関係機関の委員で組織する泉佐野市防災会議が定める計画です。

今回の修正は、前回の平成28年7月の修正以降、これまでの期間に法令改正および国・府の計画が修正されたことなどに伴い、それらとの整合を図るとともに、昨年台風21号による教訓や原子力災害対策指針の改定のほか、これまでの推進してきた市の取組を踏まえて修正しました。

市内の土木事業者(42社)および造園業組合と防災協定を締結しました

昨年の台風では暴風により倒木などが多く発生しました。このようなときに、素早く復旧するために市内の土木事業者(42社)および造園業組合とこのたび防災協定を締結しました。



▲7月26日(金)、造園業組合との協定締結の様子